

令和4年5月27日

生徒・保護者の皆様へ

青森県立五所川原農林高等学校
校長 工藤清寿

新型コロナウイルス感染症対策における生徒のマスクの着用について

時下、皆様にはますます御健勝のこととお喜び申し上げます。また、平素は本校の教育活動について御理解・御協力を賜り、心より感謝申し上げます。

さて、夏季を迎えるに当たり、学校生活におけるマスクの着用について、文部科学省から下記のような方針が示されました。

本校におきましても感染拡大防止と熱中症予防の双方を見据え、この方針に基づいて教育活動を行って参ります。

なお、現在、高校総体への参加に向けて、感染防止対策に特に力を入れて取り組んでいるところです。本校としましては、高校総体が終了するまでの間、熱中症予防に配慮しながら、これまでの感染防止対策を継続していきたいと考えております。

生徒・保護者の皆様には御理解、御協力のほど、よろしくお願いいたします。

記

1 マスク着用における全般的な方針

- ・ 屋内において、他者と身体的距離（2m以上を目安）がとれない場合、他者と距離がとれるが会話を行う場合、屋外において他者と距離がとれず会話を行う場合は、マスクの着用を推奨する。
- ・ 高齢者等との面会時や病院内など、重症化リスクの高い者と接する場合にはマスクの着用を推奨する。
- ・ マスクは不織布マスクを推奨する。
- ・ 屋内において他者と身体的距離がとれて会話をほとんど行わない場合は、マスク着用は必要ない。
- ・ 屋外において、他者と身体的距離が確保できる場合、他者と距離がとれない場合であっても会話をほとんど行わない場合は、マスクの着用は必要なく、特に夏場については、熱中症予防の観点から、マスクを外すことを推奨する。

2 マスク着用における学校等の対応

- ・ 身体的距離が十分に確保できないときは、生徒にマスクの着用を指導する。
- ・ 地域の実情に応じつつ、十分な身体的距離が確保できる場合や体育の授業ではマスクの着用は必要ないこと、気温・湿度や暑さ指数が高い夏場においては熱中症対策を優先し、マスクを外すこと等を指導する。
- ・ 運動部活動でのマスクの着用については、体育の授業における取扱いに準じつつ、接触を伴うものをはじめ活動の実施に当たっては、各競技団体が作成するガイドライン等も踏まえて対応するとともに、練習場所や更衣室等、食事や集団での移動に当たっては、マスクの着用を含めた感染対策を徹底する。

3 マスクの着用が不要な場面及びそれに際した留意事項

※ 以下の例は、記載する場面においてマスク着用を禁止する趣旨ではなく、熱中症対策を講じた上で、様々な理由からマスクの着用を希望する生徒に対しても適切な配慮が必要とされています。

- 屋外の運動場に限らず、プールや屋内の体育館等を含め、体育の授業の際には、マスクの着用は必要ない。

その際、地域の感染状況等を踏まえつつ、児童生徒の間隔を十分に確保する、屋内で実施する場合には、呼吸が激しくなるような運動を行うことは避ける、こまめに換気を行う等に留意する。

- 運動部活動についても、体育の授業に準じつつ、近距離で組み合ったり接触したりする運動をはじめ活動の実施に当たっては、各競技団体が作成するガイドライン等も踏まえて対応する。

特に以下に記載するような場面においては、マスクの着用を含めた感染対策を徹底することが必要。

- ・ 活動の実施中以外の練習場所や部室、更衣室、ロッカールーム等の共有エリアの利用時
- ・ 部活動前後での集団での飲食や移動時
- ・ 大会等の参加に当たっては、大会中はもとより、会場への移動時や会食・宿泊時、会場での更衣室や控え室、休憩スペース、会議室、洗面所等の利用時、開会式、抽選会、表彰式等の出席時、応援時
- ・ 寮や寄宿舍における集団生活時 等

- 熱中症リスクが高い夏場においては、登下校時にマスクを外すよう指導するなど、熱中症対策を優先し、マスクの着用は必要ない。

特に小学生など、自分でマスクを外してよいかどうか判断が難しい年齢の子供へは、登下校時には屋外でマスクを外すよう、積極的に声をかけるなどの指導が必要。その際、人と十分な距離を確保し、会話を控えることについても併せて指導する。なお、公共交通機関を利用する場合には、マスクを着用するなどの感染対策が必要。

- 休憩時間における運動遊びや屋外で会話をほとんど行わないことが想定される教育活動等においても、以下の「マスク着用の考え方」に基づく取扱いとする。

マスク着用の考え方

	身体的距離(※)が確保できる ※2m以上を目安		身体的距離が確保できない	
	屋内(注)	屋外	屋内(注)	屋外
会話を行う	着用を推奨する (十分な換気など感染防止対策を講じている場合は外すことも可)	着用の必要はない 事例①	着用を推奨する	着用を推奨する
会話をほとんど行わない	着用の必要はない	着用の必要はない	着用を推奨する 事例③	着用の必要はない 事例②

(注) 外気の流入が妨げられる、建物の中、地下街、公共交通機関の中など
 ※夏場については、熱中症防止の観点から、屋外の「着用の必要はない」場面で、マスクを外すことを推奨。
 ※お年寄りと会う時や病院に行く時などハイリスク者と接する場合にはマスクを着用する。

事例①
 ・ランニングなど離れて行う運動
 ・鬼ごっこなど密にならない外遊び

事例②
 ・徒歩での通勤など、屋外で人とすれ違うような場合

事例③
 ・通勤電車の中